



- '16 天皇賞・春(GI)
- '15 菊花賞(GI)
- '15 セントライト記念(GII)

キタサンブラック

KITASANBLACK

4歳 牡 鹿毛 清水久詞(栗) 馬主:大野商事 生産:ヤナガワ牧場

天皇賞・春の1着馬は意外に×
逃げ馬も過去は微妙な結果を残す

ブラックタイド	サンデーサイレンス	Halo Wishing Well
	ウインドインハーヘア	Alzao Burghclere
シュガーハート	サクラバクシンオー	サクラユタカオー サクラハゴロモ
	オトメゴコロ	ジャツジャンジェルチ ティズリー

宝塚記念 2016 ギャル宝典 出走馬完全解析

騎乗予定▶武豊騎手

逃げ	先行
差し	追込
上がり最速 33秒6	持続型



天皇賞春1着馬の成績は過去10年で[1-1-0-5]とやや不振で最後の連対は07年のメイショウサムソンまで遡る。スタミナの要る天皇賞春で勝ち切ると疲労度も高い。また、逃げ馬も[1-0-2-7]と微妙な成績。いつも堅実に走っているが宝塚記念で好走する確率は高いとはいえない。ただ、いくつもの不安説を跳ね除けて菊花賞、天皇賞春を勝っている。

戦績データ

全成績 6-1-2-1/10
 阪神芝 0-1-0-0/1
 芝2200m 1-0-0-0/1
 右回り 4-1-2-0/7
 連対時馬体重 504-532kg

勝負の分かれ目

勝 WIN 脚質の幅は広いが、ベストは先手策からの持久力勝負
負 LOSE 逃げて他馬のマークが厳しくなれば、馬群に沈む可能性も

水上学の洞察 母の父がサクラバクシンオーで、常識を覆した馬と言われるが、血統表を見れば、サクラバクシンオーは決してスプリンターで終わる馬ではなく、アンバーシャダイ、アンビポポイスとさかのぼる超ステイヤーの血が隔世で出ていていると考えるべきだろう。従兄にアドマイヤフライトがあり、牝系のスタミナは認めるべきだった。内回りの2200mは、父ブラックタイド譲りの馬力、粘りを活かせる舞台で、引き続き好走が十分可能だ。道悪は可もなく不可もなく。

明石尚典の分析 キャリア10戦で最速上がりマークはわずかに1回。切れ味勝負では分が悪いだけにラスト4ハロン、あるいは5ハロンから早めのペースアップが理想。モデルケースはラスト5ハロン59秒3の菊花賞、4ハロン46秒6の天皇賞・春。11秒台から12秒台前半のハロンラップが並ぶ持続力勝負なら無類の強さを発揮することはすでに証明済みだ。道中で息を入れられるようなら粘り込みの可能性はグッとアップする。

事情通のチョイ足し情報

この馬の調整は馬自身に任せていると師は語る。当日の状態チェックは必須だが、大きくイレ込んでいるなど、極端な状態であれば、体調に問題はないだろう。

境和樹の血統適性度チェック

C 瞬発力よりも持続力に秀でた配合で、血統適性は高い部類に入る。ただ、この馬は血統では説明しづらい活躍をしているだけに、逆に適性ドンピシャがどう出るかという恐さはある。

騎乗予定▶M.デムーロ騎手

逃げ	先行
差し	追込
上がり最速 33秒7	自在型



前走のドバイSCでは2着に留まってしまったが、長期休養明けや海外遠征といったことを考えれば、健闘したほうだろう。宝塚記念では、海外帰りの馬も大きなマイナスにはならない。過去にジェントイルドンナもドバイSCから参戦し3着(13年)している。また、過去の宝塚記念馬を見ると、芝2000m重賞での良績がある。皐月賞馬だし有力だ。

戦績データ

全成績 5-3-0-0/8
 阪神芝 初出走
 芝2200m 初出走
 右回り 2-0-0-0/2
 連対時馬体重 474-502kg

勝負の分かれ目

勝 WIN 良馬場で差しが届くような馬場状態であれば
負 LOSE 重馬場の経験がないのが、唯一の懸念材料

水上学の洞察 キングマンボの系統は、2011年3、4着、12年2着、14年4着、15年1着と近年安定して上位を取り、また母の父なら15年の2着馬も該当。このうち、ドウラメントと4分の3同じ配合のルーラーシップが2着している。能力については疑いないところだが、血統背景も適性が高い。海外帰りの休み明けという、コンディション面の問題さえクリアできれば、ここでも勝利に一番近い馬と言えるだろう。道悪はやや割り引きか。

明石尚典の分析 国内7戦でマークした自身上がり3ハロンが33秒7~34秒1。3ハロンごとのラップ分割で35秒4→35秒9→37秒3→34秒6と中だるみの大きいダービー(33秒9)、36秒5→34秒5→34秒9と一貫ペースの中山記念(34秒1)でも上がりの数字はほとんど変わらない。ラップ不問がこの馬の最大の強み。ペースに関係なく寸分の狂いもない末脚を繰り出す姿には、王者の風格が漂っている。

事情通のチョイ足し情報

前走のドバイSCでは暴れたため、蹄鉄をつけずに出走。裸足のままで、あの走りは圧巻。逆に言うと、まだ気性の問題も解消されておらず、それが災いとならなければいいのだが……

境和樹の血統適性度チェック

B キンカメ産駒は昨年ラブリーデイが勝利。血統的に不満を覚えるところはない。ただ、このレースは鈍足性が要求されるため、この馬は切れ過ぎる印象がある。そこがネック。



ドウラメント

DOURAMENTE

4歳 牡 鹿毛 堀宣行(美) 馬主:サンデーレーシング 生産:ノーザンファーム

海外帰りの参戦は評価微妙
2000mの重賞勝ち馬は相性◎

- '15 皐月賞(GI)
- '15 日本ダービー(GI)
- '16 中山記念(GII)

キングカメハメハ	Kingmambo	Mr. Prospector Miesque
	マンファス	Last Tycoon Pilot Bird
アドマイヤグルーヴ	サンデーサイレンス	Halo Wishing Well
	エアグルーヴ	トニービン ダイナカール

宝塚記念 2016 ギャル宝典 出走馬完全解析